

第22期事業報告書
(2021年7月1日～2022年6月30日)

法人の名称 特定非営利活動法人 よこはま里山研究所

1 事業の成果

第22期もコロナ禍の影響は続いたが、全主催事業への参加者数はのべ2,459名と3年振りに前期よりも増加した(第20期2,369名→第21期2,270名)。この要因としては、「もったいないから竹細工」(597名→794名)と「トンボとり大作戦」(225名→407名)の参加者の増加が大きかった。全体的に野外活動への参加者数は堅調であったのは、コロナ禍に自然を求める動きが強まったことと相関があるように思われる。一方、飲食を伴う室内活動は今期も十分に実施することができなかつたので、今後どのように活動を再開させるのかについて前向きに検討する必要がある。

「はまどま」に関しては、2020年8月からコーディネーターが入り、「街なかの里山の入口」として利用しやすい環境づくりに向けた情報整理を進めている。コロナ禍のために新たな企画を立ち上げにくいことから、コーディネーターの週1回定期在室を開始するなど工夫して、情報の収集・発信に努めた。

収支については、受託事業が堅調なことから8期連続の黒字となった。今期も「もったいないから竹細工」の参加者が多数入会したこと、よこはま夢ファンドを通して寄付を集めて助成金として活用できていることも、財務状況の安定化に役立っている。

一方、今期中にミッション・ビジョン・バリューの見直しと中長期計画の作成を予定していたが、この課題は2期続けて持ち越しとなった。また、コアメンバーの流動性が低いことも依然として課題である。財務基盤が確かなうちに、将来の環境・社会・経済状況の変化を見据えたNORAの存在意義について確認し、計画性を持って「里山とかかわる暮らし」と「里山をいかす仕事づくり」をすすめたい。

2 事業内容

1) 特定非営利活動に係る事業

(1) 里山(樹林地や農地等)の保全・活用、里山と人をつなぐ活動

ア ヤマ事業

・内 容：①NORAの山仕事(川井緑地の樹林地保全)、②竹を活かす山仕事(中井町での竹林保全)、③よこはま里山レンジャーズ(環境保全ボランティアのコーディネート) [連携：認定NPO法人自然環境復元協会]、④都市の里山資源の活用推進事業[令和3年度「緑の募金」公募事業]、⑤山道具の安全使用の推進[提携：株式会社シンコー]、⑥まちの近くで里山をいかすシゴトづくり、⑦安全で楽しい森林の保全・利用を指導できるリーダー養成事業(令和3年度「緑と水の森林ファンド」、主催：モリダス)

・日 時：通年

・場 所：①④川井特別緑地保全地区(旭区下川井町)、②中井町など、③横浜市内6か所、⑥オンライン、⑦川井特別緑地保全地区、にいほる里山交流センター(緑区新治町)、多摩市

立グリーンライブセンターなど

- ・従事者人員：4人
- ・受益対象者：樹林地の保全・活用に関心のある者 833人（①468人、②86人、③79人、④19人、⑦181人）
- ・支出額：789,405円

イ ノラ事業

- ・内容：森と畑と音楽と
- ・日時：通年
- ・場所：厚木市七沢
- ・従事者人員：1人
- ・受益対象者：農地の保全・活用に関心のある者 244人
- ・支出額 0円

(2) 持続可能な地域コミュニティづくり、暮らしの提案、イベントの企画・運営

ア ムラ事業

- ・内容 ①NORA 野菜市、②生産者の心とともに季節を味わう神奈川野菜の食事会、③もったいないから竹細工（竹かご教室・竹細工工房）、④はぶすぱラボ、⑤はまどまで土間仕事、⑥『食べもの通信』読者会、⑦里山の恵み・伝統文化と出会う上映会〔共催：郷土映像ラボラトリー〕、⑧はまどま諸々（お香のてならい）のほか、はまどま改革（横浜市市民活動推進基金「よこはま夢ファンド」）、地域連携・ネットワーク活動など
- ・日時 通年
- ・場所 はまどま（南区宿町 2-40 大和ビル 119）
- ・従事者人員 7人
- ・受益対象者 持続可能な地域コミュニティづくりに関心のある者 934人（③794人、④58人、⑤13人、⑥63人、⑧6人）
- ・支出額 2,370,757円

イ ハレ事業

- ・内容 設立 20 周年記念事業 | ①プロジェクト紹介動画の制作、②絵本・カルタの制作
- ・日時 通年
- ・場所 オンライン
- ・従事者人員 6人
- ・受益対象者 里山保全・地産地消に関心のある者 約 100人
- ・支出額 0円

(3) 里山の生物-文化の多様性保全に資する普及啓発、情報発信

ア イキモノ事業

- ・内容 トンボとり大作戦（トンボはどこまで飛ぶかフォーラム）
- ・日時 6月～10月

- ・場 所 京浜臨海部
- ・従事者人員 1人
- ・受益対象者 生き物に関心のある者 407人
- ・支出額 0円

イ 広報事業

- ・内 容 ウェブサイトの更新、「里山と暮らしをつなぐメールマガジン」配信、SNS（Twitter・Facebook・Instagram・YouTube）による情報発信、年間報告書の作成
- ・日 時 通年
- ・場 所 インターネット空間ほか
- ・従事者人員 10人
- ・受益対象者 里山に関心のある者 閲覧回数 13,201（月平均）
- ・支出額 387,593円

(4) 里山に関する調査研究・コンサルティング・人材育成・講師派遣等

ア 協働・委託事業

- ・内 容 ①ビオトープ整備のアドバイザー派遣 [委託：横浜市環境創造局]、②長浜公園トンボ池等管理、野島公園ビオトープ水路環境調査 [委託：（公財）横浜市緑の協会]、③本牧市民公園、根岸森林公園トンボとり大作戦 [委託：横浜植木（株）]、④森づくりボランティア派遣及び体験事業 [委託：横浜市環境創造局]、⑤Green Gift 地球元気プログラム [委託：NPO 法人日本 NPO センター、協賛：東京海上日動火災保険株式会社]、⑦樹林地（横浜市東部）地域計画策定業務 [委託：株式会社景デザイン研究所] など
- ・日 時 通年
- ・場 所 ①横浜市内の小中学校 24校、②長浜公園、野島公園（金沢区）、③本牧市民公園、根岸森林公園（中区）、⑤小松・城北地区（相模原市緑区）など
- ・従事者人員 4人
- ・受益対象者 里山に関心のある行政・企業・市民等 （④121人、⑤60人）
- ・支出額 8,232,366円

イ 委員・講師派遣等

- ・内 容 委員、講師・執筆など
- ・日 時 通年
- ・場 所 各地
- ・従事者人員 3人
- ・受益対象者 里山に関心のある行政・企業・市民団体等
- ・支出額 0円